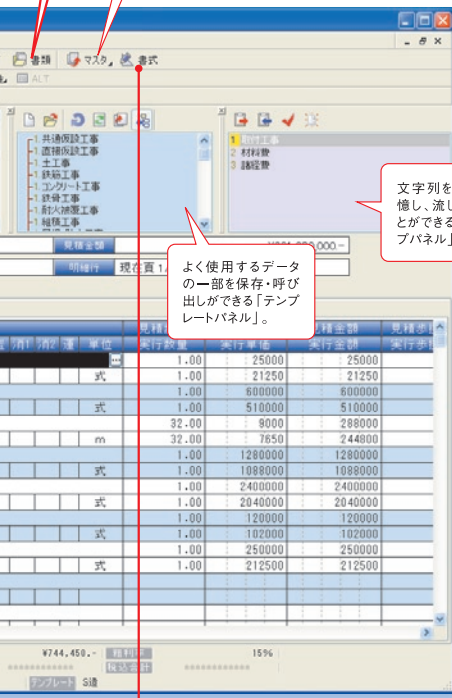


4 契約マーク
同一物件で同時にできる途中データや契約前に変更が度重なる場合など、似た見積書が多く発生します。ユーザーで契約マークを付ければ、どのデータで契約したかが分かる便利な機能です。

**建築みつも郎9は
高性能と簡単操作が
両立しています。**

名称マスタの切り替えを
簡素化するツールボタン。



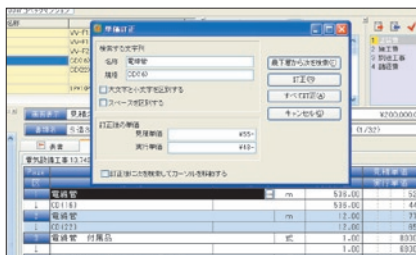
文字列を一時記憶し、流し込むことができる「クリップパネル」。

よく使用するデータの
一部を保存・呼び
出しができる「テンプレートパネル」。

4 より競争力のある 見積を目指して

【多機能置換などによる編集機能大幅強化】

過去の見積データや自社で作成するひな形データなどは、見積作業をする上でとても役立つものです。ただ単価などは、時と共に変化し見積時には確認と更新が必要です。建築みつも郎9では、グローバル置換機能がこれを実現します。過去に作成したテンプレートのブラッシュアップなどとても簡単になりました。

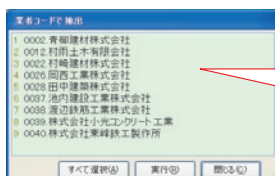


5 より効率的な データ利用を目指して

【発注書分割作成などの新機能】

書式自由の建築みつも郎9は、作成データをいろいろな書類に転用できます。ただ発注書は、それぞれの発注先別にデータを分ける必要がありました。そこで建築みつも郎9では、業者コード別データを一括で自動分割することが可能となりました。発注未定なども分類しておけば、工事の進行と合わせて現場の予算管理がスムーズになります。

※分割作成されたデータは、必要に応じて編集・保存の作業が必要です。



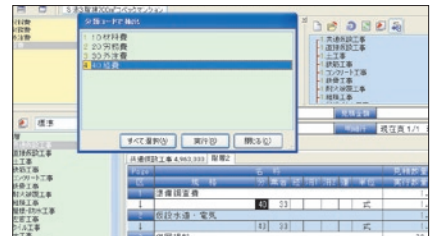
業者コードを入力しておけば、業者管理やデータの振り分けが可能。たとえば、「99999」と設定しておけば、発注未定も分類できます。

6 より高い データ活用を目指して

【分類コード入力】

表計算ソフトなどへの要素データの付加や工事管理用の分類、明細材料の仕分けなどに活用できる分類コードは、建築みつも郎9上で入力の有無がチェックできますので、とても簡単にデータの有効管理へ結びつけることが出来ます。

※分割作成されたデータは、必要に応じて編集・保存の作業が必要です。



7 より快適な 見積作業環境を目指して

【ビジュアル視認性の向上】

操作画面などの配色の調整など、長時間使用する見積プロセッサを進化させました。

8 より使い易い システムを目指して

【建築みつも郎9ガイドブック（別売）やネットによるUpToDateなサポートページを提供】

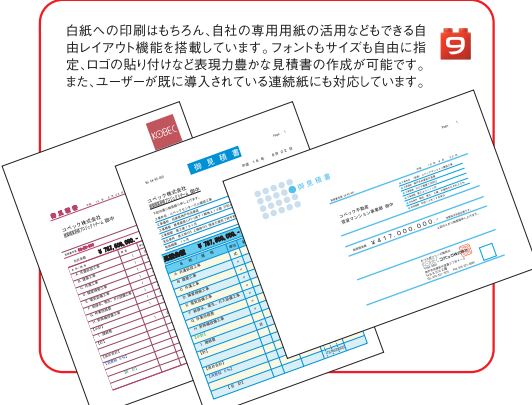
社内でいろいろな人が使う見積プロセッサだからこそ、その使用方法をより分かりやすくする手段を提供しています。詳しくはコベックのホームページをご覧ください。



9 より実践しやすい システムを目指して

【自由な印刷書式のサンプルを充実、表現性をアップ】

ご要望の多い新書式を大幅に追加し、状況に応じた書式の使用で表現力が大幅にアップしました。(出力例参照8~10p→)



白紙への印刷はもちろん、自社の専用紙の活用などできる自由レイアウト機能を搭載しています。フォントもサイズも自由に指定、ロゴの貼り付けなど表現力豊かな見積書の作成が可能です。また、ユーザーが既に入力されている連続紙にも対応しています。